

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

|      |  |        |               |
|------|--|--------|---------------|
| 施設名称 | 麻生区第2グループ(王禅寺・虹ヶ丘・柿生)  | 評価対象年度 | 平成29年度        |
| 事業者名 | ・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター<br>・代表者名 理事長 小倉 敬子<br>・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12 | 評価者    | 青少年支援室長       |
| 指定期間 | 平成28年4月1日～平成31年3月31日   | 所管課    | こども未来局 青少年支援室 |

2. 事業実績

| 利用実績                        | H28  |         | H29        |            | H28     |       | H29 |  |
|-----------------------------|--|---------|------------|------------|---------|-------|-----|--|
|                             | 1 王禅寺こども文化センター<br>①年間延べ利用者数  | 16,871人 | 17,047人    | ②年間延べ利用団体数 | 171団体   | 153団体 |     |  |
| 2 王禅寺中央小学校わくわくプラザ<br>①登録者数  | 243人   | 263人    | ②年間延べ利用者数  | 11,080人    | 12,941人 |       |     |  |
| 3 東柿生小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 210人   | 211人    | ②年間延べ利用者数  | 12,592人    | 12,470人 |       |     |  |
| 1 虹ヶ丘こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 19,892人  | 21,143人 | ②年間延べ利用団体数 | 115団体      | 121団体   |       |     |  |
| 2 虹ヶ丘小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 71人  | 79人     | ②年間延べ利用者数  | 5,032人     | 6,226人  |       |     |  |
| 1 柿生こども文化センター<br>①年間延べ利用者数  | 20,445人  | 19,374人 | ②年間延べ利用団体数 | 391団体      | 372団体   |       |     |  |
| 2 柿生小学校わくわくプラザ<br>①登録者数     | 343人   | 361人    | ②年間延べ利用者数  | 20,883人    | 22,004人 |       |     |  |
| 収支実績                        | 1 収入<br>指定管理料 130,144,753<br>2 支出<br>人件費 101,838,040<br>管理費 8,791,478<br>事務経費 5,620,731<br>その他経費 7,039,599<br>合計 123,289,848<br>3 差引 6,854,905<br>単位:円 |         |            |            |         |       |     |  |
| サービス向上の取組                   | 運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。                  |         |            |            |         |       |     |  |

3. 評価

| 分類  | 項目                              | 着眼点                                       | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------------------------|---|----|------|-----|
| 事業の推進   | 事業推進<br>及び<br>事業成果              | 「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。               | 10 | 4    | 8   |
|   |                                 | 「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。              |    |      |     |
|   |                                 | 「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。  |    |      |     |
|   |                                 | 「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。 |    |      |     |
| (評価の理由)<br>・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。<br>・王禅寺こども文化センターでは、昨年度好評だったイベント「ダンボール迷路」を、今年度は中高生ボランティアが迷路の設計から当日の運営までを行い、乳幼児がケガをしないよう、中高生ボランティアが見守るなど、遊びをとおして異年齢交流を図ることができた。また、今年度新たに、中学生の意見を取り入れ、「卓球大会」を実施し、当日は小学生から高齢者までの参加があり、多世代交流を図ることができた。その他、昨年度から中高生の居場所づくりの一環として実施している「王禅寺自習室」について、今年度は新たに夜食(たこ焼き)の提供を行うなどの工夫をしており、中高生の利用者数が昨年度と比較して、約500人増加した。<br>・柿生こども文化センターでは、多世代交流に力を入れた取組を行っており、近隣の自治会と運営協議会と連携した「こぶんDEおもちゃつき～多世代交流～」のほか、今年度新たに、子どもたちや利用団体の日頃の活動成果を発表する場として、「かきこ芸術祭2017～多世代交流～」を開催したほか、小学生からシニアの利用団体までが参加した「かきこ卓球Champ2018～多世代交流～」を実施し、多世代交流を図った。<br>・虹ヶ丘こども文化センターでは、中高生の夜間利用について運営協議会で検討し、学習に関する書籍を購入するなど、中高生が来館しやすい工夫を行ったところ、中学生の夜間利用が昨年度と比較して、90人増加した。<br>・こうした取組の結果、グループ全体として利用者数が、昨年度と比較し、約360人増加した。              |                                 |   |    |      |     |
| サービス向上及び業務改善  | 利用者ニーズ                          | サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。            | 10 | 3    | 6   |
|   |                                 | 利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。                |    |      |     |
|   |                                 | 苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。                |    |      |     |
|   | 特別な配慮を要する利用者への対応                | 特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。              | 5  | 3    | 3   |
|   | 学校及び行政機関との連携                    | 事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。    | 10 | 4    | 8   |
|   | 施設・事業の広報                        | 施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。     | 5  | 4    | 4   |
|   | 運営協議会の実施                        | 「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。          | 5  | 3    | 3   |
| 保護者懇談会の実施   | 「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。 | 5   | 3  | 3    |     |
| (評価の理由)<br>・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定等に利用者意見を反映しているとともに、苦情等への対応が適切に行われている。<br>・特別な配慮を要する利用者への対応について、学校や保護者、職員全体で情報共有を行うとともに、「障がい児対応研修」を受講し、個々の児童に合わせた対応をしている。<br>・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事の参加に加え、大学と連携し、環境保全について学ぶ行事を実施する等、地域と連携し、特色ある事業を実施している。特に、虹ヶ丘こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは、超高齢化地域であることから、世代を超えた交流を行い、地域活性化を図るために、麻生区保育支援担当と定期的に意見交換を行い、虹ヶ丘保育園、特別養護老人ホームと連携し、「ムーブメントで遊ぼう」を実施し、歌やスカフトンネルを通して、多世代交流を図っている。また、王禅寺こども文化センターでは、玉川大学の絵本創作部による読み聞かせ「おはなしひろばスペシャル」など、新たな連携による取組も実施している。<br>・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、虹ヶ丘こども文化センターでは、「中学生・高校生たより」を王禅寺中央中学校に年3回配布し、行事の際は手渡しでパンフレットを配布することで、卓球大会の参加者増につながった。柿生こども文化センターでは、「中学生・高校生たより」を年4回発行するとともに、行事アルバムを事務所に設置するなど、独自の工夫がなされている。 |                                 |   |    |      |     |

|  |   |   |    |   |   |
|--|---|---|----|---|---|
| 組織管理体制制  | 適正な人員配置                                   | 「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。 | 10 | 3 | 6 |
|  |   | 「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。               |    |   |   |
|  |   | 「川崎市公契約条例」が遵守されているか。                          |    |   |   |
|  | 職員の研修体制                                   | 職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。                    | 10 | 4 | 8 |
| 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。  |   |   |    |   |   |
| 個人情報等の取扱   | 法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。 | 5   | 3  | 3 |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、区研修として、「多世代・異年齢交流の促進について」の研修を実施し、多世代交流を促す環境づくりの大切さや子ども文化センターの役割、多世代が参加できるムーブメント遊びを学び、老人いこいの家との合同行事において、歌の発表会だけでなく、アンサンブルグループが子どもに楽器演奏方法を教える等、多世代交流がより図られるよう、内容を充実させた。</li> <li>・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul> |   |   |    |   |   |
| 適正な業務実施  | 施設・設備の保守管理                                | 安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。             | 5  | 3 | 3 |
|  |   | 必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。                       |    |   |   |
|  |   | 備品等の管理が適切になされているか。                            |    |   |   |
|  | 利用者の安全確保                                  | 利用者の安全を確保するための体制が整っているか。                      | 5  | 4 | 4 |
|  |   | 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。                 |    |   |   |
|  |   | 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。                     |    |   |   |
| 防犯対策及び災害時の対応   | 施設の防犯対策に工夫がなされているか。                       | 5   | 3  | 3 |   |
|  | 災害発生時に備えた対応が図られているか。                      |   |    |   |   |
|  | 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。             |   |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の保守管理については、子ども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。</li> <li>・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。</li> <li>・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul>   |   |   |    |   |   |
| 収支計画・実績  | 適切な金銭管理・会計手続                              | 法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。               | 5  | 3 | 3 |
|  |   | 「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。                      |    |   |   |
|  | 効率的・効果的な支出                                | 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。                  | 5  | 3 | 3 |
|  |   | 支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。           |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>  |   |   |    |   |   |

#### 4. 総合評価

|       |    |       |   |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 68 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

|   |
|---|
| <p>子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業、新規事業にも取り組んでいる。</p> <p>特に、新規事業として虹ヶ丘子ども文化センター及び管轄わくわくプラザでは、超高齢化地域であることから、虹ヶ丘保育園、特別養護老人ホームと連携し、「ムーブメントで遊ぼう」を実施し、多世代交流を推進した。また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。</p> |
|---|

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

|  |
|--|
| <p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。</p> |
|--|